

平成27年8月31日

東京都港区愛宕
1-6-7
愛宕山弁護士ビル
403号

発行責任者
会長 山浦 朝日

『青臭く』教育を語りたい

全国公立学校退職教頭会 会長 山浦 朝日



ホテルより眺める静岡市内の風景

代議員会静岡大会において、金子富美子前会長

より『バトン』を託され
山浦朝日と申します。



教頭（副校長）職を終
わると、気持ちが大きく
二つに分かれます。現職
時代の職務の厳しさに
は、「退職したからには、

もう『教育』の『きよ』の字も見たくない」と思
わせる側面があります。心情は、よく理解できます。
一方、いつまでも「教育」に関わっていたい、と
願う人たちもいます。全国公立学校退職教頭会は、
いわば、その後者の気持ちを結びつける組織とし
て存在すると考えています。会の目的の一つとし
ては、その職を全うした証しとしての叙勲を要請
する活動も含まれています。

いつまでも「教育」に関わるという点で、会長
として望むのは、出来る限り「教育を語る」こと

です。研修部の方針にもある通り全国公立学校退職

教頭会が、『発信していく会になる』ためには、会
員が集ったひと時は、趣味や病気の話の他に、学校・
子どもたちの姿・世の中の流れや在り様も話題にし
ていただきたいと思えます。そこに、きつと、『提
言集』の種子があるに違いありません。

話題となった貴重な種子は、まずは、それぞれの
支部が発行している「支部会報」に掲載をしていた
だきたいと思えます。次に、本部に寄せられた「支
部会報」の中から、全国の会員に読んでほしい記事
を『本部会報』や『提言集』に転載する形をとりま
す。交流の場の提供です。交流の場が、さらに、意
見交換の場になることも、発展的で良いでしょう。

ちなみに、私は、最近になってようやく、「吉田
松陰」に目を留めました。松陰にはいろいろなエビ
ソードがあり、そのすべてを是とするものではあり
ませんが、『教育者』として見た時、彼に学ぶべき
ものがあると感じているのです。

昨今の教育では、「SKILL（技術）」が重視さ
れています。例えば、「コンピューター・リテラシー」。
第一に、使いこなす（技術）が優先されます。その
（技術）を何に役立てるかは、個人生活中心の目先
の部分では教えられるものの、社会全体との関わり
についての視点は、かなり軽視されているのではな
いでしょうか。

それに比べ、松陰は、教育において、「WILL（志・
意欲）」を重視していたといつていいでしょう。彼
自身、長崎を訪れ、外国の異質な文化に触れ、東北
地方を訪ねて、わが国の実情を知り、後れを取つて
いる日本の行く末を案じました。そして、松陰が「W
ILL」を熱く語ることが、学ぶ者たちの心の中に
熱い「WILL」を育てて、師亡き後、志士たちは、
『明治維新』を成し遂げました。「SKILL」の教
育では、これほどの力とはならず、ことは成らなかつ
たに違いありません。教育で大切なのは、「SKILL」
ではなく、「WILL」です。

若かりし日々、先輩教師に連れられ、焼き鳥屋
で、教育を語った思い出はありませんか。飲むほど
に高揚した記憶はありませんか。後期高齢者と呼ば
れる歳になった今でも、私は、「国家百年の計」に
関わる諸問題を『青臭く』語りたくと、心から、思っ
ています。年寄りの繰り言としてではなく、現実世
界で『耳』と『手』を貸していただけた方たちを求
めながら。

平成二十七年年度

全国公立学校退職教頭会 代議員会「静岡大会」

日時 平成二十七年五月二十六日十三時～十七時
会場 ホテルセンチュリー静岡
司会 静岡 伊藤 節夫

一 開会行事

皆さんこんにちは。この会合の進行をつとめます、静岡支部の伊藤といします。どうかよろしくお願ひします。

(一) 開会の言葉

静岡支部の小林から申し上げます。

全国各地からお集まりの代議員及び本部役員の皆様静岡へようこそ、本日は静岡県教育委員会義務教育課参事の鈴木 憲様のご臨席をいただき誠に有難うございます。

我々は念願である、叙勲の復活を目指して、どのように活動し、目的に近づけていくか話し合いたいと思ひます。また各地での活動内容をだしあつて、活動しやすい方向に話し合いを進めたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

(二) 国歌斉唱

指揮は静岡支部前会長小田木がいたします。ご起立願ひします。ありがとうございます。ご着席ください。

(三) 全国会長挨拶

本部の中込武夫様お願ひします。

本日は静岡市におきまして第三十回全国公立学校退職教頭会静岡大会代議員会



の開催に当たり、静岡支部の小田木先生、長屋先生をはじめ、役員多数の方々のご尽力によりまして、ここに代議員会を開催することができましたことを、会長にかわ

りまして心から御礼を申し上げます。本来ならば金子会長が直々にご挨拶を申しあげねばならないところですが、数日前から緊急入院・退院と、戻つてきたばかりでございます。そのために副会長の中込が会長に代わりまして御礼を申し上げます。

さて、公務ご多用の中を、静岡県教育委員会義務教育課参事の鈴木 憲様のご臨席をいただき、厚く御礼を申しあげます。さらに市長様をはじめ、各委員長から暖かいお言葉も頂いているとの話を承つております。ここに改めて御礼を申し上げます。

本会にご承知の通り会の規約に則り、四つの実践目的を持ちまして、活動を続けて参りました。その中で最も関心を持つて取り組んでいるのは第二項の「会員の福利厚生」に関わる問題であります。会員の叙位叙勲であります。さらには三項の「教育の振興」に関する件であります。特に最近教育内容に関する諸課題が多数ございます。これらの諸問題は一朝一夕に解決できるものではありません。

一例ではありますが最近、文科省の方から児童生徒の

不登校の問題、さらに暴力や、殺傷に関する事件等、現代社会の理念を疑うような事件が多々ございます。現場の教頭先生は校長を補佐しながら、校内の要として苦難の日々を戦つております。その現状を見るに付け、退職教頭会として出来る限りの協力をして参つております。各支部におきましてはこれに着々と協力の手を差し伸べ、その成果も伺つております。

特に本日は各支部の代議員の方々は遠路ご出席され、第二部の協議会の中で皆様方の英知を出し合い、実りある代議員会となりますよう期待し、会長に代わり挨拶いたします。

(四) 歓迎の言葉

静岡県会長 長屋から申し上げます。



全国の皆さん静岡へようこそお越しくございました。初夏の風は心地良くといいたいです、今日の風はいかがだったでしょうか。蒸し暑いんですよかね！外から見えた人にお聞きしますとよく晴れてましたよ。富士山見えましたよ。と言う声が聞こえました。草花も思い思いに軒先を彩つております。ほんとうに良い季節でございます。良い季節にみんなでこうして集う、そうしてお互いに健康を確かめ合い交流を深かめ合う。このことだけでもこの集いの役割は果たしているのかもしれない。年一回のこの代議員会の集いとなりますと、それだけでは済まないようでございます。

日頃の難題に本腰を入れて、真剣に協議し合い明日への展望を抱きながら実践に結びつけていく気構え、気合

いが必要ではないでしょうか。中込先生のご挨拶の中にもございました、金子会長の挨拶文の中にも有ります。が、長期的または今日的な課題が山積しております。その課題解決のために是非この快適な空間、快適な場所、頭を聡明にして、議論を戦わせていただきたいと思っております。

会場提供の静岡スタッフのみなさん実行委員の皆さんお立ちください。後ろの方に控えております。

早くから取り組み、粗相のないように、参加費に見合うだけの収穫をもってお帰りいただけるようにと一生懸命気を使ってきました。行き届かない面が多々あるうかと思いますが、なんなりとお申し付け下さいませ。どうぞお座りください。



さて静岡に来たからには富士山を見なくてはという思いの方がいらつしやると思っています。昨日までは全く見えなかったように思います。「今日は朝出てましたよ」の声が聞こえましたので、もしかしたら見ることができるとも思いません。非常に気まぐれな富士山でありまして、機嫌の悪い時には顔を見せてくれません。良いときには本当に雄大な富士山が眺められます。皆さんはみんないい方ばかり、そして行いのいい方ばかりですから富士山が見られるかもしれませんね。そして旅の疲れをいやしてください。次に静岡のお茶も富士山に劣らず世界農業遺産として認定されております。どうぞ味わって飲んで

いただきたいと思っております。

一つここで、お詫びを申し上げなければなりません。それは皆さんの中から、明日午前中くらいを使って観光案内をして頂けませんかという要望がございました。いろいろ話し合っていたいただきましたけれども、その要望に添えることができませんとうに申し訳ありません。パンフレットをお送りしましたのでお仲間とグループを作って回られたらいかがでしょうか。

一番簡単な手っ取り早いコースといたしまして、一つ紹介いたしますと、静岡駅から日本平行き静鉄のバスに乗りまして、終点日本平で降ります。そこは眼下に清水港、三保の松原、富士山とはつきり見えますね。そしてふりむけば二八〇度本当に素晴らしい景色が広がっております。そこからロープウェイに乗りまして久能山東照宮へ行きます、久能山東照宮はお色直しをしたばかりです、で、ピッカピカでございます。そこで国宝のお宝を見せてもらってください。そこから石段を千数百段、トコトコトコトコ海岸線のほうに向かって降りていきます。そうしますと海岸線に沿って遙か向こうまで広がっているのは久能のイチゴのハウスでございます。イチゴハウスは見事でございますけれども、今はイチゴの時期ではございませんのでイチゴ狩りはできません。残念ながら、駿河湾を眺めたりしてバスに乗って静岡駅に戻ってくる。このコースが一番簡単かなと思っております。

この駅の北の方、歩いて十分くらいの所には駿府城公園がございます、そこを探索するのもよろしいかと思っております。今日、明日にかけて実りの多いひとときとなりますよう念じて私の話を終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

(五) 来賓祝辞

静岡県教育長代理 静岡県教育委員会義務教育課 参事 様 よろしくお願いたします

皆様こんにちは、いながらにご挨拶申し上げさせていただきます。本日に平成一七年度全国公立学校退職教頭会代議員会静岡大会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。本来であれば、県教育長が挨拶を申しあげるべきところですけれども、就任後初の定例教育委員会が本日でございます。

代わって私、県教育委員会義務教育課参事の、私が挨拶を申し上げます。よろしくお願いたします。

全国公立学校退職教頭会の皆様におかれましては在職中はもちろんのこと、退職教頭のお立場としても全国公立学校の教育活動に対して、ご理解とご支援をいただき大変ありがたく感謝申し上げます。ご承知のとおり社会の急激な変化の中で子どもたちの教育をめぐる環境も大きく変化し、学校だけでは解決できない多くの課題が山積しております。新しい教育委員会制度もスタートしました。

そして「アクティブラーニング」の推進、道徳や小学校英語の教科化、コミュニティ・スクール導入推進など矢継ぎ早に多くの改革も進められようとしております。さらには今後全国的にも大量退職期、大量採用期を迎える教員の年齢構成が大きく変わり、経験の浅い教師の全体に占める割合が高くなります。そのような状況の中にあつて、ご退職された先生方の豊富な経験とネットワーク

クが、現職教頭はもろろんのこと、全国のすべての教員にとつても大きな支えとなっております。この全国公立学校退職教頭会代議員会の目的は、教育経験を活かした社会貢献と生きがい活動の推進、広報活動の充実と会員の親睦交流、そして叙位・叙勲の受章確保などであると伺っております。

その実現に向けて代議員の皆様が中心となりまして、これまで以上に各都道府県退職教頭会支部相互の連携と交流を深めていただくとともに、様々なお立場から、引き続き全国公立学校の教育活動に対するご理解とご支援をいただきたいと思います。我々県教育委員会といたしましても微力ではありますが、皆様の活動の一助となればと思っております。

結びに本会会員の皆様のご健勝と全国公立学校退職教頭会のみまますのご発展を祈念して祝辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

(六) 祝電披露

メッセージおよび電報が届いておりますので石黒から報告申し上げます。

法務大臣の上川陽子様よりメッセージが届いておりますので代読させていただきます。

全国公立学校退職教頭会代議員会静岡大会が盛大に開催されるにあたり一言お祝いのご挨拶を申し上げます。皆様が急速な少子化が進展する社会環境の変化の中でこれまでの教職経験を生かして地域社会への貢献活動及び学校教育活動への支援にご尽力頂いておりますことに心より感謝申し上げます。子供の良質な生育環境の

保証と社会全体で子育てを支援する態勢づくりのために、家庭・地域・学校・職場が連携を強めて、子供とその親たちが安心して生活していける社会の再生のために、私も全力で応援して参りますので、地域社会へのご支援に、さらにご尽力いただきますようお願いいたします。

結びに全国公立学校退職教頭会代議員会がますます発展されますようお祈り申し上げますとともに、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。平成二十七年五月二十六日は誠にありがとうございます。平成一七年五月二十六日 法務大臣衆議院議員上川陽子（代読）

さらにもう一通、静岡市長様より祝電が届きましたので、ご披露させていただきます。

お祝い 全国公立学校退職教頭会代議員会静岡大会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。金子会長様をはじめ会員の皆様の多大なるご尽力ご努力に深く敬意を表しますとともに、本日お集まりの皆様方のご健勝と貴会のみまますのご発展をお祈りいたします。

静岡市長田辺信博（代読）

(七) 来賓紹介

改めまして来賓のご紹介をさせていただきます。

静岡県教育委員会学校教育課参事 様

先生には、お忙しいところ、御出いただきました。これで退席されますので拍手でお送りいただければと思います。

二 議 事

代議員会に入ります。代議員会は第十二条、代議員会は委任状を含めて過半数の出席で成立する。議長議事

録署名確認は代議員の中から選出し、出席者の過半数で決定するとあります。本日の代議員数は四六名、出席三名、委任状八名、計三九名で過半数に達したことをお知らせし、この会が成立することを認めます。同じ条項による議長選出ですが、どういたしましょうか、お計りいたします。それでは本部の方お願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、本部の方から次の方へお願いしたいという連絡が来ました。本部から福岡様、副会長の中込様。このお二方に議長をお願いしたいと思います。

今紹介されました本部の庶務をしております福岡健と申します。次に中込と申します。厳正につとめますのでよろしく願っています。

それではこれから議事を円滑に進行してまいりたいと思っておりますので協力よろしく願っています。

最初に、お手元の議案書に何点か誤字訂正がありますのでそれを先にさせていただきます。まず議案書の四頁を開いてください。会務報告の一番左側に番号がありますが三番目、群馬県の会長さんの、篠田正二様の正二の字が間違っており、昭和の昭です、訂正をお願いいたします。それから七頁の五番の福利厚生のところの二行目最後のほうになります。各支部からの推薦もなく、今後「身」を託したい、希望の希です。「のぞみ」を託したいと訂正してください。その頁の七番目の研修活動報告の欄の(1)提言集の発行を継続していくの、次の行、教頭(副校長)を経験者としての「を」を消してください。今のところ、気づいたところは三点になります。もしその他に何かありましたらご指摘いただければと思います。